

きずなの郷

第32号
2010 春

発行 社会福祉法人 厚生協会

平成22年4月27日



昨年の花見見学です



11年目を迎えた屈足わかふじ園

お陰様で開所10年

平成12年4月1日に十勝管内唯一の身体障害者療護施設としてオープニングして以来、4月1日で11年目に入りました。

重度の肢体不自由により常時介護が必要であり、家庭で生活をすることが困難な方が入所され、新得町屈足地区に開所して早10年。町民の皆様や関係者の暖かいご支援をいただき、深く感謝しております。

平成18年より障害者自立支援法が

施行され、施設体系が大きく変化していくなか、平成21年11月1日からは「障害者支援施設 屈足わかふじ園」と名称を変更し、「生涯介護事業・施設入所支援・短期入所事業」を行っています。新しい法律では、日中と夜間の事業が法律上では分かれますが、生活の場所は今までと変わらず、支援内容も変わりません。

今後とも屈足わかふじ園をよろしくお願いいたします。
尚、昨年12月よりブログを始めています。この広報誌の最終ページにアドレスを載せてありますので、こちらも是非ご覧下さい。

目次

お陰様で開所10年	1
平成22年度事業計画	2
行事特集	
クリスマス	6
もちつき	7
屈足手打ちそばの会	8
節分	9
わかふじ寮	10
新得小学校DE木工教室	
QCサークル活動発表会	
長年の功労を称えて表彰	
屈足わかふじ園	11
ばんえい競馬見学	
十勝ウインドシンフォニー演奏会	
音楽療法	
新春カラオケ大会	
新得やすらぎ荘	12
今年も年越しは手打ちそばで	
認知症サポーター研修	
介護職員基礎研修	
新年会	
オードブル食事会	
行事のお知らせ・人事異動	13
ご寄付・ご寄贈	14
「真心絶品」のご紹介	
編集後記	



これからもよろしくお願ひいたします

平成22年度 事業計画

法人本部

平成22年度は、新政権の政治主導による行政改革に始まり、障害者自立支援法の廃止が打ち出されたが、新たな枠組みが示されず、今後の動向を注視して行く必要がある。

法人本部としては、新たに庶務課を設置し、本部機能の充実を計り、各施設長が施設の活動を一層活性化し、利用者の生活環境・健康が維持でき、施設運営の安全が確保できるような体制を整備し、法人として下記の事業を推進する。

事業計画

- ・理事会及び監事監査の開催
- ・研修会の参加
- ・管理部、施設在宅部、就労センター部、研修部の指導・助言
- ・地域還元事業
- ・富士道公認会計士との顧問契約
- ・松浦弁護士との顧問契約
- ・ひまわり荘の改築に向けた対応

庶務課の役務

- ・理事会及び評議員会の対応
- ・補助事業全般
- ・法人全般にかかる諸規程の管理
- ・ISO取得に向けた準備（取得後の管理）
- ・第三者評価に向けた準備
- ・外部からの苦情に対する対応（授産は除く）
- ・人事採用の取扱
- ・その他

わかふじ寮・第2わかふじ寮・わかふじワークセンター

わかふじ寮は就労移行支援、就労継続支援B型の多機能型事業、わかふじワークセンターは就労継続支援B型として新体系のもとで支援を行っている。

新たな事業として高齢者との共生型ホーム（障害者はグループホーム）を建設し、入所から地域生活への移行を随時行っていく。

地域生活の実現を目指す上では、工賃の更なる引き上げが求められており、所得保障を実現する為、工賃向上を目標に取り組んでいく。又、個別支援計画に基づき、個々のニーズに応じた適切なサービスの提供を行い、利用者にとって住み良い環境を整えることを目標としていく。

以上のような目標達成のため下記の事業を行う。

【1】生活部門

- ①個別面談・ケース会議・モニタリングを行い、問題の早期発見・早期解決を図る。
- ②利用者の意見反映の為、定期的に懇談会を開催する。

【2】就労移行部門

- ①地域生活移行・地域生活機能への支援を行う。

【3】医療部門

- ①転倒・怪我などの事故防止対策への取り組みの強化。

【4】食生活部門

- ①個別の栄養状況を把握し、適切な食事の提供と栄養管理をする。

【5】事務管理部門

- ①交通安全対策の重視と、安全運転マナーの徹底を図る。

【6】地域交流・施設機能の地域解放・関係団体との交流・広報活動

- ①手話サークルとの連携を深める。
- ②職員自ら地域の活動に積極的に参加し、施設への理解を深める。
- ③聴覚障害者団体の活動に積極的に参加する。
- ④学校の福祉講座等の受け入れに伴う、内容の充実と積極的支援。

【7】研修・研究

- ①QCサークル等の施設内研修を充実する。
- ②施設におけるリスクマネジメントについての研究。
- ③障害者の地域生活支援についての検討。
- ④障害者の就労支援についての検討。

授産事業計画

日本経済はもちろんのこと、道内の景気においても未だに厳しい状況が続く中、授産事業にも深刻な影響を与えており、当施設においても、全職員共通認識のもと、「売上目標額の達成」「利益の向上」「仕事量の確保」「コスト削減の強化」「利用者工賃の向上」を目標として収益のある事業振興を図ることを重点に事業を計画し実施する。

■事業内容

1. 売上の確保
2. 利益の向上とコスト削減
3. 仕事量の確保
4. ペットフード事業運営の確立
5. パン事業の見直し
6. その他

聴覚障害者養護老人ホーム やすらぎ荘

平成21年2月1日より個別契約型から特定施設入居生活介護型への移行後、法令を遵守し、より一層良いサービスが提供出来るよう努めて来たが、今後も継続していく。

また、虐待防止の徹底や事故防止、新型の感染症の防止等、時代に即した処遇、サービスの提供に努める。

【生活支援部門】

- ①利用者の生活状況を観察し、コミュニケーションを充分に図ることで、利用者の日常生活動作能力、心理状態等を把握し、個別処遇計画を策定する事によって生活支援の統一を図る。
- ②利用者の生活の様子を適宜記録し、適切な相談・助言やその他の援助を行う。

【医療部門】

- ①利用者の定期健康診断を実施する。
- ②利用者の身体等の状況を適宜記録し、状況変化の把握と適切な対応を行う。

【給食部門】

- ①利用者の身体状況を考慮しながら、個人にあった食事の提供や個別栄養アセスメントの作成を行う。
- ②各部門との連携を密にし、速やかに対応出来る体制を確立する。

【地域社会との交流・広報活動】

- ①全道の聴覚障害者との交流を深める。
- ②地域幼稚園・小・中・高等学校、との交流を深め手話の普及に努める。

特別養護老人ホーム 新得やすらぎ荘

昨年度の介護保険の改定では、人的な体制加算が主であった。取得可能な加算について申請を行っているが、加算取得を継続できる体制の整備に努めていく。また、リスク管理に重点を置き、事故防止に関する施設内研修の複数開催、各種マニュアルの見直しを行っていく。

ショートステイは、各居宅事業所に空き情報等の提供を行い、利用しやすい環境を整えていく。

【利用者サービス全般】

- ①利用者の要介護状態の軽減又は悪化の防止に資するよう、利用者の心身の状況等に応じて、処遇を適切に行う。
- ②関係法令等を遵守し、利用者又はその家族等の個人情報を慎重に扱う。又、サービスを提供するうえで知り得た利用者又はその家族等に関する事項を正当な理由なく第三者に漏洩しない。

【介護部門】

- ①個別の関わりを大切にし、各種行事やクラブ、個別の活動（友遊クラブ等）の内容を充実させる。
- ②認知症ケアの研修会等に参加し、施設に取り入れ、その人らしい生活が送れるよう支援する。

【医療部門】

- ①利用者の身体等の状況を適宜記録し、状況変化の把握と適切な対応を行う。
- ②利用者やその家族又は時代のニーズに応じる為、ターミナルケアの知識を深め、対応への取組みを検討する。又、各種学習会や研修会への参加を図り、実践していく。

【給食部門】

- ①利用者が喜んでいただけるように食事の質の向上を目指す。
- ②利用者のニーズに合わせて、個々に合った調理方法の技術向上に努める。

短期入所生活介護事業所 新得やすらぎ荘（ショートステイ）

- ①介護支援専門員等と連携を取り、利用者や家族のニーズ（1日ショートや緊急時の通院等）に応えられる様に努め、極め細やかなサービスの提供を心掛ける。
- ②介護者の疾病や入院等やむを得ない理由により、緊急利用が必要な場合は、利用者の受け入れについて迅速に対応するよう努める。

日帰りサービスセンターやすらぎ荘

デイサービスでは、運動機能等の向上、栄養改善、口腔機能改善の選択的サービスを実施し定着してきている。運動機能訓練に対しては、理学療法士の指示のもと、より適正な対応となるよう取り組んでいく。更に、利用者のニーズに合わせたレクや趣味活動の多様化、外出の機会を増やす等利用者に喜ばれるデイサービスを目指していく。ミニデイサービスは、小人数のよさを大切にした更なる内容の充実に努めていく。その他に職員の施設内研修、外部研修の機会を多くもち、職員のモチベーションの向上を図っていく。

清水デイサービスセンターやすらぎ荘

慣れ親しんだ地域で、生きがいをもって生活していただけるよう、在宅での日常生活動作支援を重視し、転倒予防、認知症や廃用症候群等リハビリテーションを提供していく。個人個人の状態、希望に添ったサービスが提供できるよう専門職の理学療法士がリハビリの計画・実施を行い、利用者が心身ともに健康でいきいきとした生活が送れるよう支援する。

その他に職員の施設内研修、外部研修の機会をもち、職員のモチベーションの向上に努める。

訪問介護事業所 新得やすらぎ荘

【老人福祉サービス】

支援方針

利用者の望まれる訪問介護事業所となるよう努めていく。また、地域還元として、利用者の家族や地域の人々を対象とした研修会の開催と地域で介護業務に従事している人の資格取得をサポートする介護基礎研修事業の充実と継続的実施に向けて取り組んでいく。

利用者サービス

- ①住み慣れた居宅や地域での在宅生活の維持に向け、利用者の生活や心身の状況を把握し援助の方向性や目標を明確にし、援助を妥当適切に行う。
- ②居宅サービス計画と、利用者の日常生活全般の状況及び希望を踏まえて訪問介護計画を作成し、利用者、又は家族の同意をもらい交付し、利用者がその能力に応じ自立した生活が営めるよう援助を行う。

- ③訪問介護サービスに当たり、懇切丁寧を旨とし、利用者又は家族に対し、サービス上必要な事項について理解しやすい説明を行う。
- ④特定施設の利用者に対しては、施設職員との連携を取りながら、必要なサービスの提供を図り、ケアについても定期的に検討し、その利用者に合わせた援助を行う。
- ⑤自らその提供するサービスの質の評価を行い、常にその改善を図る。

【障害者サービス】

支援方針

障害福祉サービス事業はさまざまな障害に対応できるような専門性が求められるようになってきている。このことを受け研修の充実を図るとともに、利用者本位のサービスが提供できるように取り組んでいく。

利用者サービス

- ①市町村が決定した居宅介護の「支給量」と利用者の意向や心身の状況を踏まえて居宅介護計画を作成し、利用者や家族に丁寧に説明していく。
- ②自らその提供するサービスの質の評価を行い、常にその改善を図っていく。

居宅介護支援事業所

利用者の選択に基づき、適切な各種サービスを多様な事業所から総合的かつ効率的に提供されると共に、利用者の置かれている環境に応じて提供されるよう支援していく。

そのためにも介護支援専門員として高度な専門性と高い職業倫理をもって、地域からの要請に応え、地域と共にある事業所としての役割を大切にしていく。

- ①有する能力に応じた自立支援に向けた介護サービス計画及び介護予防計画の策定
在宅生活での自立支援の観点に立った効果的、効率的で中立である介護サービス計画の策定を行う。
- ②関係機関とネットワークの活用によるサービスの継続的な管理
在宅生活の継続を図るため医療機関（主治医等）、行政機関やサービス事業者との連携を密にし、利用者や家族の意向を尊重できる信頼関係に努める。
- ③サービスの質の確保
 - イ) 在宅介護支援の専門職としての技術の向上と人間性の研鑽に努める。
 - ・専門研修への参加及び自己研鑽を行なう事により専門職としての資質の向上に努める。
 - ・質の向上を図る事で利用者及び地域に選ばれる事業所を目指す。
 - ・介護保険制度の動向や福祉情勢を把握し事業内容の検証及び改善に努める。
 - ロ) サービス評価を行う。
 - ・北海道作成の「介護支援専門員業務に関するチェックリスト」に基づく専門員の自己評価を行う。
 - ・北海道作成の「居宅支援事業所の自己評価基準」に基づく事業所の評価を行う。
- ④利用者確保の方策
地域住民へ介護保険や事業所の情報提供、研修会を行ない、信頼関係を築きながら利用者確保を図る。
 - ・広報等による地域への周知
 - ・研修会開催等による地域への情報提供を図る
 - ・ホームページへの掲載

屈足わかふじ園（生活介護・施設入所支援・短期入所支援）

昨年11月より、障害者自立支援法に基づく新体系に移行し、障害者支援施設として事業を行っているが、中央では新政権が誕生し、障害者自立支援法の廃止を含めた障害者施策に関する総合的な見直し始まり、1月からは民主党のマニフェストに示された「障がい者制度改革推進会議」において5年後の本格的な見直しに向けた議論が始まっている。

新たな制度改革の動向を見つつも、利用者に対しては個別支援計画に基づき、個々のニーズに応じた最適なサービスを提供できるよう支援を行っていく。

又、新たな日中活動として、生きがい就労的な生産活動を開始する予定であり、日常生活の支援だけでなく働く支援も行っていく。

【1】介護部門

- ①個別支援計画を活用しサービスの向上に努める。
- ②介護マニュアルを見直し、更に技術の向上・介護内容の充実を目指す。
- ③保清、手洗い、口腔ケアを徹底し、感染症の予防に努める。
- ④職員間の連携を密にし、ヒヤリ・ハット報告を活用した事故防止に努める。
- ⑤接遇を見直し、介護職としての資質を高める。

【2】医療部門

- ①嘱託医へ適切な情報提供を行い、利用者の健康管理に努める。
- ②医師・協力病院との連携を密にし、緊急時等に適切な対応ができるよう、体制作りに努める。
- ③健康診断を実施する。
- ④感染予防マニュアルに基づき、感染予防に積極的に取り組む。

【3】給食部門

- ①希望メニューを提供したり、給食運営会議での意見を取り入れる等、利用者の要望をメニューに反映させる。
- ②行事食等に工夫をこらし、楽しくおいしい給食を提供する。
- ③外食産業等、専門業者より出張実演による食事提供の機会を設け、利用者の食に対する多様なニーズに応えられるよう取り組む。
- ④衛生面に注意を払い、食中毒等の防止に努める。
- ⑤セレクトメニューを週2回実施し、食事を選択する楽しみを作る。
- ⑥栄養ケア計画に基づき個々の利用者の状態に合わせた食事支援が出来るよう努める。
- ⑦適温給食に努める。

事業計画

【4】機能訓練部門

- ①利用者の身体状況に応じた個別の訓練計画を作成し、身体機能の維持と日常生活動作の拡大を図る。
- ②各部門との連絡調整を密にし、生活に即したリハビリを提供する。

【5】生活支援部門

- ①利用契約に基づいた個別支援計画を作成し、利用者のより豊かな生活の実現に向けたサービスの提供を行う。
- ②新規利用者が安心して利用できるよう、関係調整を行う。
- ③利用者からの苦情・相談を随時受け入れ、個別の相談援助を行うと共に、必要に応じ、利用者間の人間関係の調整を行う。
- ④利用者との懇談会を行い、快適な施設生活に向けて検討し合う機会を設ける。
- ⑤地域生活を希望する利用者については、ニーズに合せた支援を行う。

【6】生産活動又は創作的活動

- ①日中活動として、利用者の障害特性をふまえた工夫をもって生産活動又は創作的活動の機会を提供する。

【7】防災

- ①消防計画に基づき避難訓練等を実施すると共に、定期的に避難、救出訓練その他必要な訓練を行い災害防止について必要な処置を講じ、利用者の安全確保に努める。
- ②定期的に施設内を点検し防災管理・対策に努める。

【8】研修

- ①施設内外の研修会には積極的に参加する。
- ②自主的な施設内研修を実施し職員の資質の向上に努める。

短期入所事業

- ①新規利用者の受け入れにあたっては、事前に利用者の身体や生活状況を把握し、関係部門との連絡調整を密にする。
- ②利用者が安心して利用できるよう、相談や悩み事に対し、関係部門との連携を密にとり解決に向けた支援を行う。
- ③利用者や家族の意向を尊重した介護の提供を図る。
- ④利用者の状態変化については、家族等と連絡を密に取り対応を図る。

生活介護事業（日中活動のみ）【旧デイサービス事業】

- ①利用者の身体、心理状態を理解し、安心したサービスを提供できるように努める。
- ②利用者の意向を尊重した介護の提供を図る。
- ③施設行事、クラブ活動の参加を呼びかけ、施設入所利用者と交流できる機会を作る。
- ④制度の動向等について、利用者や家族に説明を十分に行う。

ひまわり荘事業計画

特定施設入居者生活介護利用者は、状態にあわせた介護サービスが利用できるよう、法令を遵守しより良い介護サービスが提供できるよう努める。利用者のサービス向上、転倒などの事故防止に努め、利用者を平等に対応し、差別、暴言、高圧的な態度を慎み、約束を守り、挨拶の徹底を図る。さらに、笑顔の応対など基本的なことがらに取り組み、利用者の意思と人格を尊重し、常に利用者の立場に立ったサービス支援に努める。

【介護部門】

(1) 利用者との話し合いによる施設運営の推進

- ①利用者で組織する「ひまわり会」を定期的に開催し、利用者の意見を十分に反映した施設運営に努める。
- ②利用者とのコミュニケーションを図り、職員の統一した個別サービスを提供し、信頼関係の確立に努める。
- ③利用者における施設内事故が無いよう、細心の注意をはらうとともに事故防止やプライバシー確保のための施設運営に努める。

(2) 個別援助

- ①利用者の個々の生活や意思を尊重し、自立促進に向け、日常の養護に努める。
- ②利用者の持つ問題点や施設生活上の課題、悩み、希望を十分な話し合いにより職全体で把握し個々に対応したサービスを提供する。

【地域との交流】

- ① 敬老会、ユニークダンスパーティ、高齢者芸能は発表会など、施設外行事への参加を促す。
- ②ボランティアの受け入れや地域との交流を促進する。

【看護部門】

- ①日常の健康チェックを実施し、利用者の状態変化を早期に発見し、適切な対応に努める。
- ②利用者の緊急時の対応を迅速に行い、家族との連携を速やかに行う。
- ③施設内の感染対策を徹底し、インフルエンザ（季節型・新型）ノロウイルス等の感染予防に努める。

【給食部門】

- ①月1回給食会議を開催し、利用者意向を取り入れた食事内容の検討を行う。
- ②利用者の年齢、健康、希望に配慮した食事の提供に努める。
- ③セレクトやバイキング等の行事食を積極的に取り入れ、喜ばれる食事の提供に努める。

訪問介護事業所 ひまわり荘

利用者がその居宅において、その有する能力に応じ可能な限り自立した日常生活を営むことができるように支援する。また、特定施設利用者へのサービスを中心に行っていくため、介護サービス計画書に基づいたサービスを提供し、各関係機関との連絡を密にし、利用者の生活能力について、向上できるようなサービスを提供していく。



クリスマス

Merry Christmas



わがふじ寮



自治会会長、笑顔で乾杯 !!

おいしい料理を前にニッコリ



楽しい会食に気分↑
で思わずピース !

サンタさんからみんなに抽選
カードを配ります。
今年はどんなプレゼントがも
らえるのかな?



やすらぎ荘



ちょっと音外れているんじゃない?

おなかいっぱい
いただきます



手話の歌からクリスマス会
スタート!
「あわてんぼうの
サンタクロース」ですね



サンタさん、ありがとう。
中は何かな?

屈足わがふじ園



合唱クラブからの発表です

サンタの衣裳でダンス!

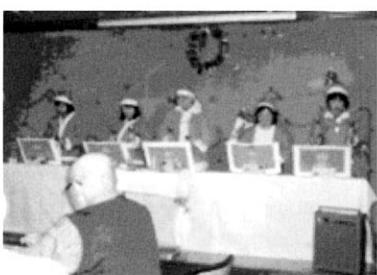


6人の美女! ? 誰が綺麗?

たくさんの料理の前に
皆さんご満悦



ひまわり荘



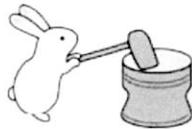
ハンドベルって難しい!



サンタさんは何をくれるのかしら?



勝負の行方は??



もちつき



わかふじ寮



今年はライオンも参戦してお手伝い！
来年もお手伝いに来るのかな？

利用者と職員の息の合ったもちつきで
おいしいお餅が出来上り！

ま～るくな～れ！おいしくな～れ！

やすらぎ荘



ヨイショ！ ヨイショ！ もうひと頑張りだ！

美味しい おもちが出来上がるかな？

屈足わかふじ園



職員もお手伝いして「エイ！」

笑顔で「ヨイショ！」

まずは職員でデモンストレーション

ひまわり荘



合いの手が上手いな～

上手に丸めてくださいね～



打ちたては美味しいね！



打つ手に力がこもる！！



屈足手打ちそばの会

おいしい「お蕎麦」ありがとうございました。

わかふじ寮



親切丁寧な指導を受けて、そば打ち初体験！



そばを切るのは意外と難しい！
慎重に 慎重に



打ちたてのそばに思わず笑顔がこぼれます



遊んでいるわけではないよ
こねることからそば作りは始まるのです



「おっとっと、おそばさん逃げないで」
こねから、おそばを切るところまで養護特養利用者にたくさんそば打ちを体験させていただき、みんなでおいしくいただきました



二人一緒に共同作業強く押すから
しっかり押さえていてよ

やすらぎ荘



職人さんの「技」に感動です



こんなに「そば」で見ることができました

屈足わかふじ園



なかなか上手に切ってますよ



ここが重要なポイントです



おかわりする程美味しい
おそばが食べられました

ひまわり荘

節分 豆まき



わかふじ寮



年男4人組参上！ 今年はどんな年にするかな？



はいど～ぞ
今年は鬼さんから
おいしい豆を
プレゼントしますよ

エッ！？
鬼さんから豆を
もらうなんて
初めてです！



豆まき



今年は
4人の鬼さんが
きてくれました

「青
みんなど
豆をぶつけ
て！」
皆さん笑顔で
楽しい豆まきでした



「節分。
今年も健康で
過ごせます
ように。」



屈足わかふじ園



「鬼は～外～！」



決して雷様ではございません

豆まきの後に
甘納豆を
食べました



あんまり強くぶつけないでね



今年の年女年男です

まずは神棚へ
厄払い



力いっぱい
福を呼び
こむぞ！



ひまわり荘

ひまわり荘

新得小学校 DE 木工教室



職員と一緒に悪戦苦闘？

は、放課後に希望する低学年児童8名が参加し、慣れない工作に悪戦苦闘しながらも職員と一緒に何とか完成することができます。

完成後は自分の作品にマジックで思い思いの絵や色をつけて世界にひとつだけの作品が出来上がりました。



完成した作品を手に取り、ハイチーズ！

昨年の12月9日、新得小学校にて木工教室を開きました。わかふじ寮から3名の職員が指導にあたり、「ポケットティッシュケース」を作製。

新得小学校で初めて行なう今回の取り組み

QCサークル活動発表会 ～利用者の質の高い満足を目指して～

昨年度に引き続き、「利用者の質の高い満足」を元に限られた資源の中でサービス・食事・処遇等の向上を目指して、今年度は6サークルがそれぞれにテーマを選定し活動に取り組んできました。

各サークルとも職種が違うメンバーとすることもあり、打ち合せ等の時間調整が難しい中での取り組みとなりましたが、1月15日に行なった発表会では全サークルが活動の成果を発表することができました。

今年度、最優秀賞になったサークルのテーマは「余暇活動の充実について」

重度・高齢化が進む当施設において、休日の大半を施設内で過ごす利用者が多く、今回の取り組みは利用者にとって大変有意義な内容でした。

また利用者の施設利用料負担が増えたことを考え、低料金で外泊・食事・遊びを楽しめた今回の活動は、次年度も継続していく予定です。



最優秀賞となったサークルの発表の様子

長年の功労を称えて表彰

～永年勤続功労職員へ～

この度、わかふじ寮から6名の職員が長期にわたり、福祉施設の職員として従事してきたことを称えられ、全国社会福祉協議会より永年勤続功労者として表彰されました。この表彰を受け、当法人の佐々木理事長より永年勤続功労職員に対して金一封が渡されました。

この6名の職員は全て勤続30年以上で表彰を受けています。今日のわかふじ寮があるのも、今回表彰された職員の絶え間ない努力と利用者に対する思いがあったからではないかと思います。

これからも施設利用者のために更なる活躍をして頂き、後に続く職員の育成にも尽力されることと思っています。



佐々木理事長より永年勤続功労職員へ金一封が渡されました

永年勤続功労職員名

谷本 憲保	わかふじワークセンター事務員
菊地 龍雄	わかふじワークセンター技術指導員
笠井 宏有	わかふじワークセンター技術指導員
中静 新一	わかふじワークセンター技術指導員
高畠美優治	第2わかふじ寮指導課長
田中 雅之	わかふじ寮施設長

ばんえい競馬見学 ～パワフル競馬にエキサイト～



「ガンバレ！ ガンバレ！」

だことがあるとのことで、久しぶりの観戦に「〇番行けー！！」など興奮してレースの行方を追っていました。普通の地方競馬とは違い、スピードだけではなく、馬の引っ張る力と持久力・騎手のテクニックも必要とされるパワフルな競馬に、利用者も職員も魅了されました。

利用者の1人が見事予想が的中し、参加したメンバーの中で唯一の一人勝ちでしたが、参加した全員が馬の迫力を楽しんでいました。



入場口で記念撮影です

12月14日に家族会主催のもと、音楽療法が行なわれました。講師は帯広市で音楽療法士としてご活躍されている山内欣子先生と、ピアニストの広崎真澄さんに来園して頂き、利用者・職員に音楽を通して体を使って表現したり、

手話の歌等を教わりました。

利用者は開催日を知った日からすごく楽しみにしており、当日はほとんどの利用者が参加しました。先生の素敵な歌声に合わせ、普段歌う機会が少ない利用者も「きよしこの夜」や「思い出のアルバム」等、大きな声で歌いました。

また「大きな古時計」では、タンバリンやマラカス等の楽器を用いて合唱し、利用者同士のコミュニケーションも図れ、とても充実した時間を過ごす事が出来ました。この音楽療法は年2回予定しており、利用者・職員共々、次回来られる日を楽しみにしています。

山内先生ありがとうございました



隣りの人と手をつないで合唱中です

十勝ウインドシンフォニー演奏会 ～素敵な音色に感動です！～



今回で2回目です。また来て下さい。

11月15日に家族会主催で十勝ウインドシンフォニー演奏会を行ないました。十勝ウインドシンフォニーは、主に帯広市内で活動されている吹奏楽団で、メンバーは社会人の20名で構成され、今回はそのうちの9名に来園して頂きました。今回の演奏会では、『崖の上のポニョ』から始め、『上を向いて歩こう』・『ピンクレディーメドレー』など、利用者の世代に合わせた6曲を披露して頂きました。また6家族9名の参加もあり、利用者・職員共々素敵な音色に感動しました。

最後の曲が終わると、会場からは「アンコール」の大合唱が沸き起こり、新たに『きよしのズンドコ節』を追加披露して頂きました。最後に主催者の本田家族会会長よりお札の挨拶があり、割れんばかりの拍手で締めくくりました。お帰りの際には、皆さんで玄関でお見送りをし、利用者から「また来て下さいね」と声をかけていました。



素敵な音色に魅了されました

新春カラオケ大会 ～日頃の練習の成果を発揮！～



真剣です。大熱唱しました

1月3日にお正月行事恒例の『新春カラオケ大会』を行いました。

普段行われているカラオケクラブとは違い、一人一人ステージに上がっての歌の披露に少し緊張気味でしたが、新年の歌い初めということもあり皆さん大熱唱でした。日頃の練習の成果を見せようと、皆さんそれぞれの十八番を披露され、ステージ周辺で応援している利用者もタンバリンやマラカス等を使い、リズムに乗って楽器を奏で、カラオケ大会を大いに盛り上げていただきました。

閉会式では、職員や歌われていない利用者が審査員となり、参加した方々にそれぞれ「うまかったで賞」等の景品を渡しました。

マイクを持っていない利用者の歌声も響き、賑やかなカラオケ大会でした。



「ナイスで賞」受賞でピース！



今年も年越しは手打ちそばで



およそ150人分のおそばを手際良く作っていきます。大晦日の忙しい時に頑張っていただきました。

庄していただきました。養護・特養の利用者と職員の合わせて150人分程を手際よく盛りつけていただき、夕方には全員が揃って美味しい手打ちそばをいただくことが出来ました。

美味しいおそばやお刺身を食べて「これでお正月を迎えることが出来ます。」と、皆さんとても喜ばれていました。山口様には大晦日のお忙しい中、美味しいおそばを作っていただき、ありがとうございました。



年越しそばの完成です。お刺身も付いてこれで良いお正月を迎える事が出来そうです。

まさに年の瀬も押し迫った12月31日、今年も職員のご家族が、年越しそばを振る舞いに来

認知症サポーター研修

やすらぎ荘では、認知症になった人やその家族に対し、地域で見守りをしていくサポーター養成の全国事業「認知症サポーター100万人キャラバン」に協力しています。

講師の資格を持つ6名の職員がこれまで女性グループ等に経験を生かした研修を行なってきました。今回は12月に新得中学校3年生37名対象に研修を開催し、認知症の理解や接し方の講義を行ないました。



皆さん真剣に講義を受けられています



講義後に撮影しました

介護職員基礎研修

昨年より準備をしてきた介護職員基礎研修がいよいよ始まりました。

介護基礎研修とは、これから介護職員として介護サービスに従事しようとする方を対象とした基礎的な職業教育研修で、修了者はヘルパー1級資格より上位の資格を得る事ができます。

第1回目となる2月20日の開校式では、理事長の挨拶後、早速講義が始まっています。

一日約7時間、9カ月程度の長丁場となるスクーリングですが、資格取得を目指してみなさん頑張って欲しいと思います。



資格取得を目指し、皆さん真剣です！

ひまわり荘

新年会 ～新年のお祝いだ！～

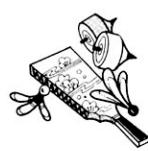
新年会と正月遊びが1月4日に行われ、昼食では豪勢な食事が振る舞われました。

美味しい食事を堪能した後の正月遊びでは、百人一首、福笑い、ほうびき、かるた等行いました。



美味しくてお腹いっぱいだ

中でも、ほうびきが大変人気で、皆さん昔を懐かしみつつ、楽しい時間を過ごしました。



さあ。当たるかな？？



オードブル食事会 ～美味しいでたまらないね～



これから食事会！楽しみです

今回は夕食時に食事会を行いました。巻き寿司等の他、鳥せいの唐揚げ、炭火焼き、串が振る舞われ、みなさん唐揚げと炭火焼きどちらが好きかなどで話が盛り上がり、楽しい食事会となりました。



皆で美味しく乾杯だ

/// 行事のお知らせ ///

■わかふじ寮■

- 5月 ふるさとの集い
6月 自治会パークゴルフ大会
7月 ふれあい盆踊り

■屈足わかふじ園■

- 5月 花見食会
一泊旅行
6月 避難訓練
7月 犬とふれあい会
8月 夏の夕べ・花火大会
きずなの郷まつり

■やすらぎ荘■

- 4月 開所記念夕食会
交通安全教室（養護）
5月 合同花見
長寿の祝い
帯広外出（養護）
6月 山菜採り
帯広買物外出（特養）
ゲーム大会（特養）
開所記念日帰り旅行（養護）
7月 ふれあい盆踊り
つり大会（養護）

■ひまわり荘■

- 5月 お花見会 バス遠足
買物外出
端午の集い 山菜採り
6月 家族との交流会
日帰旅行 買物外出
春のピクニック
7月 バス遠足 買物外出
8月 ひまわり荘夏祭り
七夕 花火大会
日帰旅行 買物外出

■人事異動■

法人本部

■採用 平成22年4月1日付
儀藤 敦 法人本部 庶務課長

わかふじ寮・第2わかふじ寮・ワカフジワークセンター

■異動 平成22年4月1日付
高金みゆき（新）養護老人ホームひまわり荘特定施設 介護職員兼訪問介護事業所ひまわり荘訪問介護員（臨時職員）
(旧) 身体障害者施設第2わかふじ寮介護員（臨時職員）

■採用 平成22年4月1日付
高畠 雄一 身体障害者施設第2わかふじ寮 介護員（正職員）
進藤 和史 身体障害者施設第2わかふじ寮 事務員（正職員）

■退職 平成22年4月30日付
富田 孝 障碍者支援施設わかふじ寮 事務員

やすらぎ荘・新得やすらぎ荘

■施設内異動 平成22年4月1日付
大山 浩一（新）清水デイサービスセンターやすらぎ荘機能訓練員兼日帰りサービスセンターやすらぎ荘機能訓練員（正職員）
(旧) 特別養護老人ホーム新得やすらぎ荘機能訓練員（正職員）
大瀧 展生（新）特別養護老人ホーム新得やすらぎ荘 事務員兼訪問介護事業所新得やすらぎ荘事務員（臨時職員）
(旧) 特別養護老人ホーム新得やすらぎ荘事務員（臨時職員）
伊藤 真未（新）特別養護老人ホーム新得やすらぎ荘 介護員（フルパート）
(旧) 聴覚障害者養護老人ホームやすらぎ荘支援員兼訪問介護事業所新得やすらぎ荘訪問介護員（フルパート）

■昇格 平成22年4月1日付
山内 和徳（新）特別養護老人ホーム新得やすらぎ荘 主任介護員
(旧) 特別養護老人ホーム新得やすらぎ荘 副主任介護員
大澤 優恵（新）特別養護老人ホーム新得やすらぎ荘 副主任介護員
(旧) 特別養護老人ホーム新得やすらぎ荘 介護員

■採用 平成22年4月1日付
奥山 真悟 聴覚障害者養護老人ホームやすらぎ荘 支援員
兼訪問介護事業所新得やすらぎ荘訪問介護員（正職員）
丸山 将丈 聴覚障害者養護老人ホームやすらぎ荘 看護職員
兼通所介護事業所日帰りサービスセンターやすらぎ荘機能訓練員（フルパート）
和田奈津美 特別養護老人ホーム新得やすらぎ荘介護員（正職員）
工藤 祐哉 特別養護老人ホーム新得やすらぎ荘介護員（正職員）
松田 光太 特別養護老人ホーム新得やすらぎ荘介護員（正職員）
工藤 史明 特別養護老人ホーム新得やすらぎ荘機能訓練員（正職員）
橋本 江理 特別養護老人ホーム新得やすらぎ荘事務員（正職員）
坂梨 麻裕 通所介護事業所日帰りサービスセンターやすらぎ荘生活支援員（正職員）
森田 洋子 訪問介護事業所新得やすらぎ荘訪問介護員（フルパート）

■定年退職

平成22年3月31日付
森田 洋子 訪問介護事業所新得やすらぎ荘訪問介護員

■退職

平成22年3月31日付
和田友里恵 聴覚障害者養護老人ホームやすらぎ荘 生活相談員
兼訪問介護事業所新得やすらぎ荘訪問介護員
後藤田千明 聴覚障害者養護老人ホームやすらぎ荘 生活相談員
兼訪問介護事業所新得やすらぎ荘訪問介護員
村岡 厚子 聽覚障害者養護老人ホームやすらぎ荘 介護員
佐々木則行 兼訪問介護事業所新得やすらぎ荘訪問介護員（フルパート職員）
佐々木清香 特別養護老人ホーム新得やすらぎ荘主任介護員
伊藤キミ子 特別養護老人ホーム新得やすらぎ荘副主任介護員
特別養護老人ホーム新得やすらぎ荘（パート職員）

■屈足わかふじ園

■昇格・降格 平成22年4月1日付
福田慎太郎（新）障害者支援施設屈足わかふじ園 副主任生活支援員
(旧) 障害者支援施設屈足わかふじ園 生活支援員
窪田 真弓（新）障害者支援施設屈足わかふじ園 給食主任
(旧) 障害者支援施設屈足わかふじ園 給食副主任
佐々木 純（新）障害者支援施設屈足わかふじ園 副主任介護員
(旧) 障害者支援施設屈足わかふじ園 介護員

■採用 平成22年4月1日付

岩田 早穂 障害者支援施設屈足わかふじ園 介護員（正職員）
阿部多美子 障害者支援施設屈足わかふじ園 看護師（臨時職員）

■退職

平成22年3月31日付
渡辺 恵江 障害者支援施設屈足わかふじ園 副主任介護員
橋本千亜貴 障害者支援施設屈足わかふじ園 介護員
畠山亜希子 障害者支援施設屈足わかふじ園 介護員（パート）

■ひまわり荘

■異動 平成22年4月1日付
高金みゆき（新）養護老人ホームひまわり荘特定施設 介護職員兼訪問介護事業所ひまわり荘 訪問介護員（臨時職員）
(旧) 身体障害者施設第2わかふじ寮 介護員（臨時職員）

■採用 平成22年4月1日付
相原 政也 養護老人ホームひまわり荘特定施設介護職員（臨時職員）

■退職 平成22年3月31日付
佐藤さや夏 養護老人ホームひまわり荘特定施設介護職員
兼訪問介護事業所ひまわり荘訪問介護員（正職員）

ご寄付・ご寄贈ありがとうございました

平成21年11月から平成22年1月まで（敬称略）

【本部】

新得町 菅原 武夫
齊藤 三男
平 秀子
けいら整形外科医院
堂端 紀男

【わかふじ寮】

新得町 田中 雅之
山本 洋
(株)田村工業
代表取締役 田村記男
千葉 玄昭
道東エーアウターエネルギー㈱
新得サービスセンター
佐々木芳子

【やすらぎ荘】 【新得やすらぎ荘】

新得町 千葉 玄昭
千葉 月代
横倉 喜一
深川 文雄
坂井 清志
久保島 真智子
和泉 喜美子
玉川 一夫
佐藤 有宏

新得町

横山 邦也
小川 奈津子
浅野 剛司
橋井 良夫
勾坂 夏子
清水 靖雄
門馬 茂
藤田 文晴
板東 健二
中野 よし江
佐々木 則行
伊藤 ばば天光堂薬局
暖笑 上田精肉店
玉川菓子店
新得幼稚園
JA新得
三浦商店
ビーター・フーバー・
ジェームズ・リスゴー

札幌市

河原 純一
日清医療食品
仲鉢 重忠
大村 真弓
小林 孝一
岡田 美和子
鈴木 谷保
清水町 谷保 義明
清水中央薬局
只野 敏彦
渡辺 中高

幕別町

麗子

津別町 西東 晴子
上川町 佐藤 加代子
当麻町 山口 和子
湧別町 河村 寛
中札内村 高田 梅子

【屈足わかふじ園】

新得町 渡辺 千代子
佐藤 茂光
八木 ツル子
下元 ひろ子
ともしび会
玉沢 さちえ
鈴木 貞雄
柳 正一
菅原 武夫
千葉 玄昭
川口 アキノ
館内 弘美
(株)マルサ齋藤商店
平和園
高砂屋
(有)南井商店
(有)みうら
ムラカミ石油
小田天光堂
上田精肉店
松田商店
おしゃれの店ひろせ
札幌福祉医療器㈱
帶広ヤクルト販売㈱
(株)田村義肢製作所
佐藤 雪枝

音更町

宮路 禮子
中西 圭一
中島 博
しみず中央薬局
北海道マツダ販売㈱清水店
茅室町 藤澤 三夫
足寄町 松浦 尚子
札幌市 高橋 敏
(株)NTTファシリティーズ
北海道支店

【ひまわり荘】

新得町 玉川 一夫
斎藤商店
板垣商店
芦野 久夫
ばば天光堂薬局
村瀬理容室
中平 金馬
(有)狩勝振興
吉田 幸一
三輪ミツ子
菅原 耕造
渡辺 孝氏
清水町 しみず中央薬局
和知 初子
北見市 佐川 和則
鹿追町 阿部 道雄
広尾町 原 光治氏
音更町 高橋 正広

社会福祉法人厚生協会では、法人各施設の様子や情報をホームページやブログで公開しています。ご意見やご希望についても電話・Eメールで受け付けています。

厚生協会ホームページ

<http://www.wakafuji.or.jp>

(ペットのおやつ) ブログ

<http://blog.campan.info/wakafuji>

ブログ「屈足わかふじ園日記」

<http://blog.campan.info/wakafujienn/>

厚生協会E-mailアドレス

wakafuji@rose.ocn.ne.jp (屈足わかふじ園)
wakafuji@netbeet.ne.jp (わかふじ寮)
yasuragi@rainbow.ne.jp (やすらぎ荘)
himawarihome@ivory.plala.or.jp (ひまわり荘)

この広報誌の中で使用させていただいている利用者の顔写真等は、すべてご本人の了承をいただき、掲載しています。

編集後記

今回は各施設で取り組んでいる行事を、それぞれ行事ごとに4ページにわたり写真を中心に掲載しました。

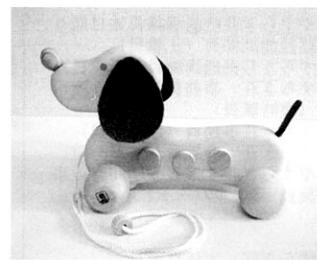
新年度を迎え、いろいろと忙しい時期が続きます。皆さんも体調等崩さず頑張っていきましょう。

私たちが選んだ「プラスα」の価値をお届けします。

「真心絶品」のご紹介

この度、わかふじ寮の製品が「真心絶品」ブランド品として認定されました。

「真心絶品」とは、全国の障害者施設で作られた製品の中から本当に優れたモノだけを厳選した日本セルプセンターの販売チャンネルサイトです。



犬の引き車



木箱入り積み木

今後さらに「わかふじのおやつ (ペットのおやつ)」も紹介される予定ですので、下記のアドレスまでアクセスしてください。

真心絶品サイト
magokoro-zeppin.com